

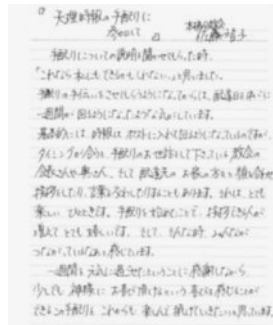
みんながつながっているなあ と感じています

「天理時報の手配りに参加して」

本橋分教会 佐藤 智子

手配りの説明を聞かせてもらった時、「これなら私にもできるかもしれない」と思いました。

手配りの手伝いをさせてもらうようになってからは、配達日を中心に一週間が回るようになったような気がしています。



基本的には、時報はポストに入れて回るようになっているのですが、タイミングが合うと、手配りのお世話をして下さっている教会の会長さんや奥さん、そして配達先のお家の方々と顔を合わせ、挨拶したり、言葉を交したりすることもあります。それは、とても楽しいひとときです。手配りを始めたことで、挨拶できる人が増えてとても嬉しいです。そして、そんな時、みんながつながっているなあと感じています。

一週間を元気に過ごせたということに感謝しながら、少しでも神様にお喜び頂けるという喜びを感じることができるこの手配りを、これからも楽しんで続けていきたいと思っています。

時報の手配りをして下さっている上分町の佐藤智子さんに、手配りをして頂いて感じて下さったことを書いて貰いました。手配りを通して同じ地域に住むお道の用木同士のつながりを感じて頂いています。

あなたも、その輪の中に入れてみられませんか。

発刊後の最新情報はホームページでお知らせいたします → <http://uma.tenrikyo.info/>

よふぼく成人講座2月17日開催

「よふぼく成人講座」を2月17日に開催させて頂きました。54名の参加者を得て、『ことばづかい』をテーマに、教祖にお教え頂く、お道の用木としての言葉のつかい方を勉強させて頂きました。

